

ビースコアを利用した

楽譜点訳

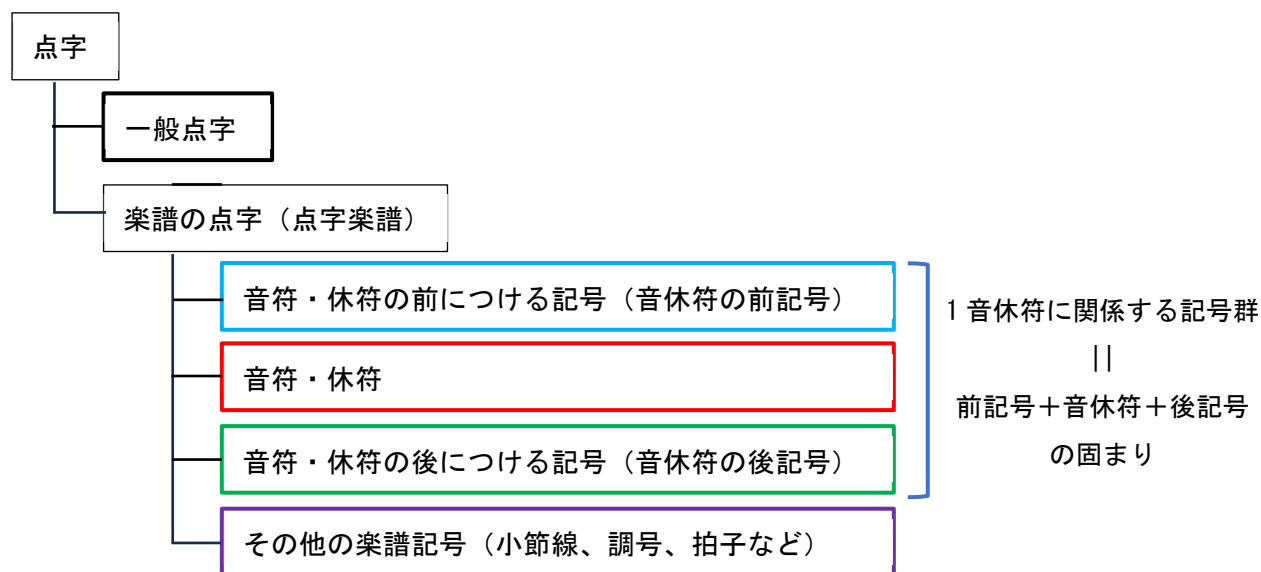
ビー・ミュージック 村上恭子

目次

1	点字の種類	1
2	ビースコアの点訳規則	2
3	入力方法	3
3.1	6点入力	3
3.2	音楽記号・アルファベット・かな入力	4
3.3	メニュー・ツールバー入力	4
4	基本の入力と操作	5
4.1	新規作成時の設定	5
4.2	音符・休符	7
4.3	音列記号	7
4.4	小節線・複縦線・終止線	8
4.5	翻訳	9
4.6	改行	10
4.7	段がえ	11
4.8	改ページ	12
5	編集用の機能	14
5.1	Undo・Redo	14
5.2	コピー・切り取り・貼り付け	14
5.3	かんたんコピー・かんたん貼り付け	14
5.4	グローバル・チェック	14
5.5	音部記号の変更	15
5.6	初期設定の変更	15
5.7	ジャンプ	16
5.8	弱起の設定	16
6	表示機能	17
6.1	表示色の変更・初期値に戻す	17
6.2	画面の拡大・縮小	17
7	演奏機能	17
7.1	全体演奏・途中からの演奏・1パートのみの演奏	17
7.2	パートごとの音色設定	17
8	ファイル入出力・印刷機能	18
8.1	自動バックアップ	18
8.2	ファイルの保存	18
8.3	点字印刷の設定	18
8.4	墨字印刷の設定	18
9	ちょっと高度な機能	20
9.1	非翻訳点字・行	20
9.2	非出力点字・行	20
10	点字楽譜に関する書籍・Web サイト	22

1 点字の種類

点字の楽譜は、一般点字と楽譜の点字(点字楽譜)を両方使う。それぞれ、点訳規則は異なる。

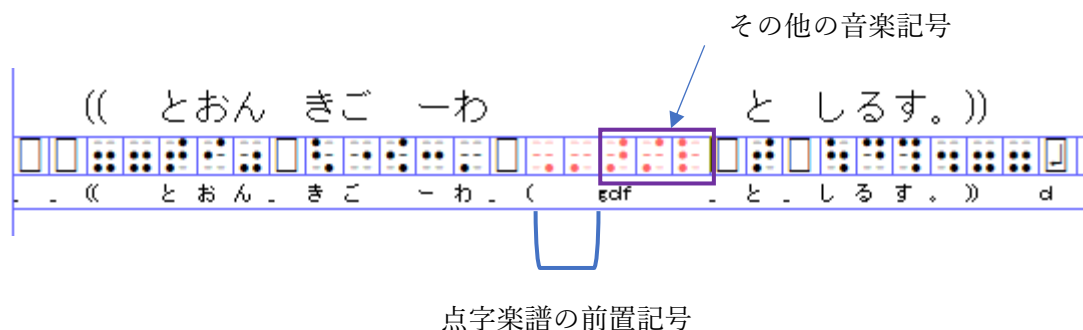


「点訳のてびき第4版」全視情協 P.145 より引用：

- (1) 一般書の文章中に点字楽譜を用いる必要がある場合には、できるだけその部分を行替えし、点字楽譜の前置記号(⠠)を前置したり、前後を1行あけるなどして、楽譜の始めと終わりを明確にする。
- (2) 文章中に行替えせずに挿入する場合は、1マスあけてから、点字楽譜の前置記号を付け、終わりは1マスか2マスあける。

(1)の例

この例では、黒の点字が一般点字、赤の点字が点字楽譜。



(2)の例

この例では、1, 2 行目が一般点字、4, 5 行目が点字楽譜。

一般点字
点字用紙の1行目、タイトル、作曲者名など

Page:1 Line:1 トップ行

Line:2 ヘッダ行
まえぎごーと あとぎごーの れい

Line:3 ヘッダ行

Line:4 ヘッダ行
= 1 0 4 # 4/4

Line:5 Part:1 p1.
mp CS 4oc 4c 3a 3g 3oc 4c 3b 3a <E b stc 4oc 4g 3en 4g 4c 3c 3a b cl

←1行あけ 楽譜の点字に切り替わることを示す。
(楽譜と分かっているときは空けないときもある)

点字楽譜
曲の最初の調号・拍子などを最初に書き、次の行に楽譜を書き始める

1音・休符に関する記号群の固まり

2 ビースコアの点訳規則

ビースコアでは、

トップ行(赤の罫線)・・・点字用紙の1行目

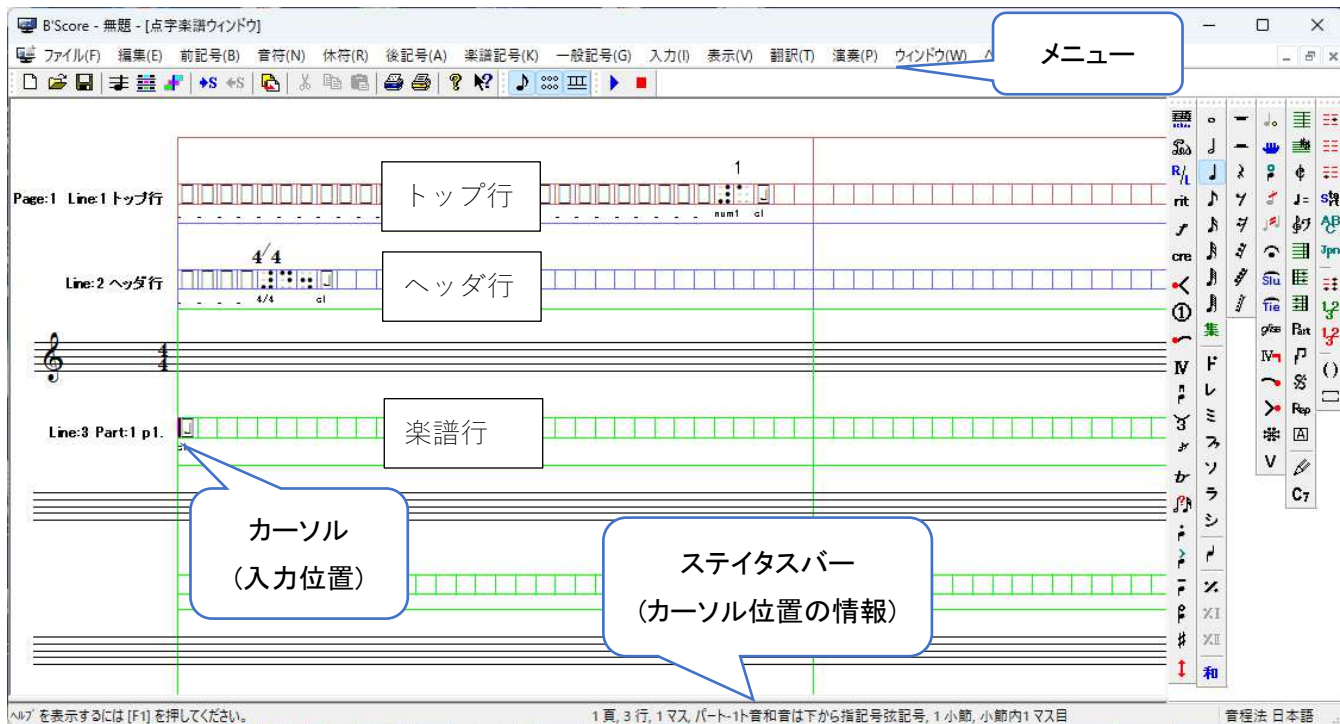
ヘッダ行(青の罫線)・・・曲の始めのタイトル・作曲者名など・点訳者の注・曲の最初の設定(練習番号、速度記号、
曲想用語、調号、拍子)を書く行

パート行(緑の罫線)・・・楽譜を書く行

と3種類の行を区別している。

基本的に、トップ行、ヘッダ行は一般点字の規則、パート行は点字楽譜の規則に従う。ただし、曲の最初の設定は点字楽譜の規則に従う。

ビースコアの画面(点字楽譜ウィンドウ)



和音の書き方、言語

3 入力方法

入力方法は、次の3種類ある。

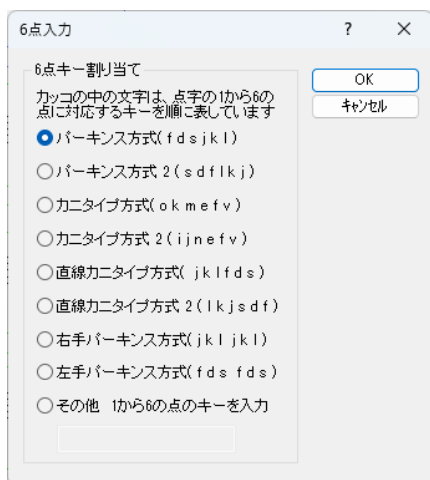
- 6点入力
- 音楽記号・アルファベット・かな入力
- メニュー・ツールバー入力(メニューを選ぶ、またはツールバーをマウスでクリックして入力)

常に挿入モード。画面表示は凸点表示のみ。

3.1 6点入力

各点に対するキーの割り当ては、変更できる。

6点のキーボードへの割り当て変更 ... メニューの“入力”→“6点入力方法...”



3.2 音楽記号・アルファベット・かな入力

点字の代わりにピースコア独自の名称で音楽記号を入力・・・F5キー

かな入力・・・F7キー

アルファベット入力・・・F8キー

※かな、アルファベットは“言語”の設定によって入力される点字が異なる。

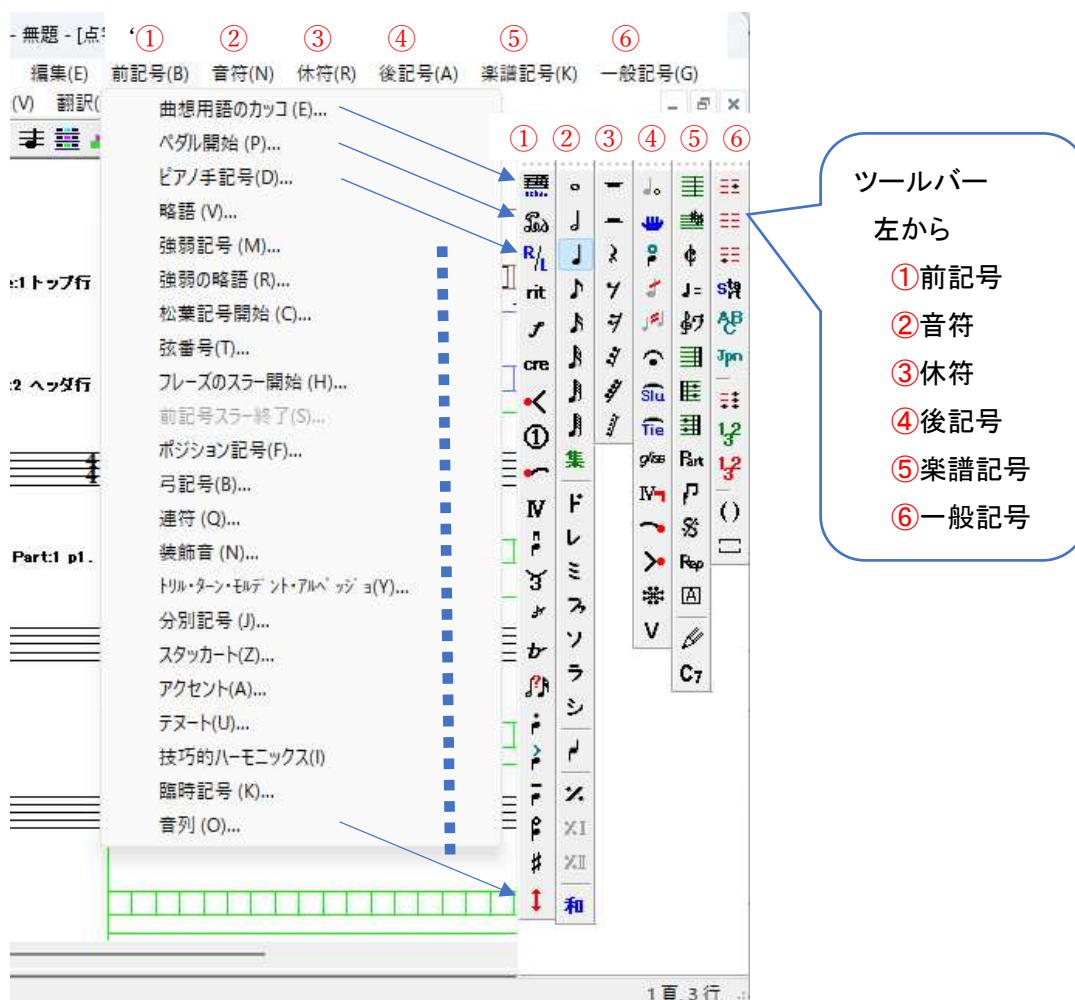
※ピースコア独自の名称一覧は、C:\Program Files (x86)\Micro CAD\Score (X) V4.96\Document下の“6.ピースコア(X)辞書(点字・キー入力文字一覧).txt”ファイル参照。

3.3 メニュー・ツールバー入力

メニューの前記号、音符、休符、後記号、楽譜記号、一般記号の内容は、ツールバーと同じ。

メニューを選ぶ、またはツールバーのボタンをマウスでクリックすると、カーソル位置にその点字を入力できる。

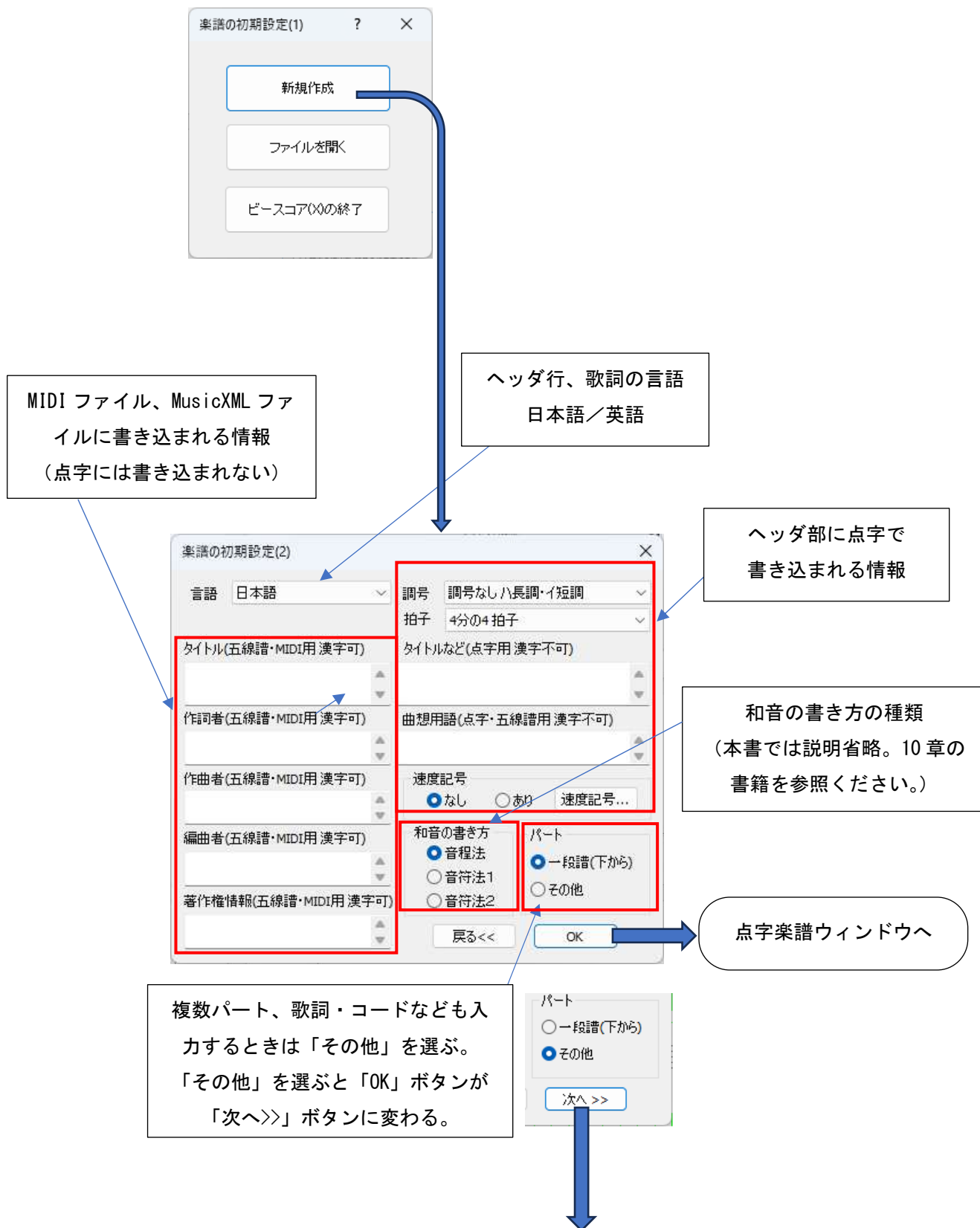
メニュー・ツールバーの順序が記号の順序なので、前記号の中の順序、後記号の中の順序はボタンの順序を参考にできる。

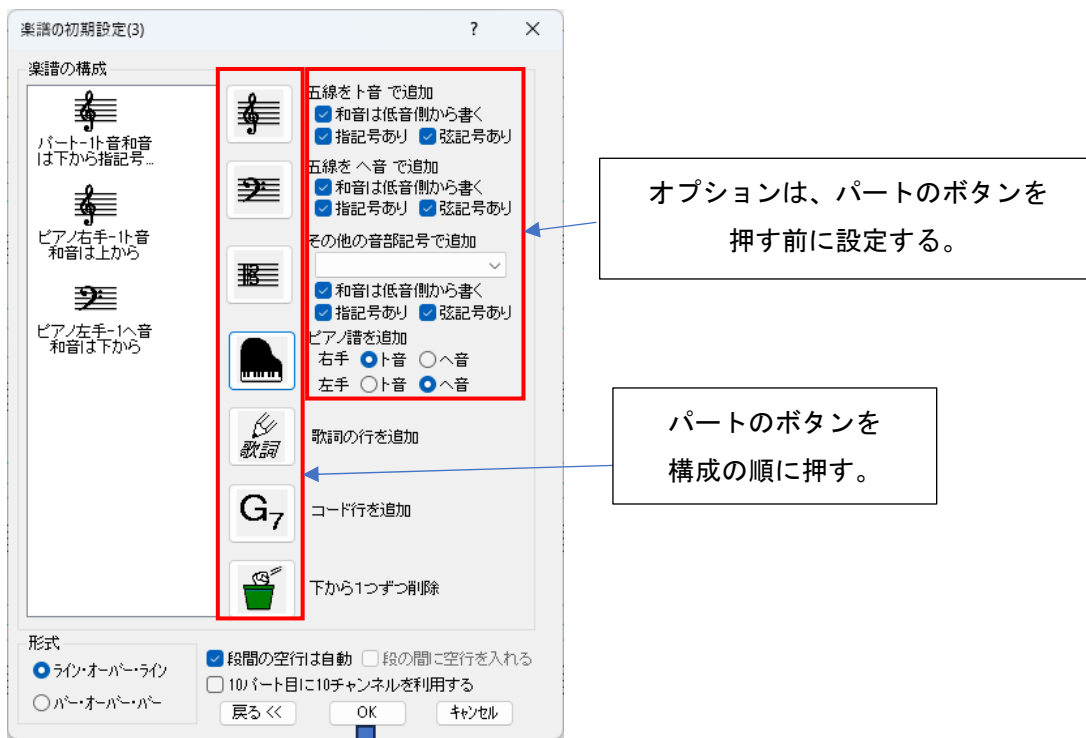


4 基本の入力と操作

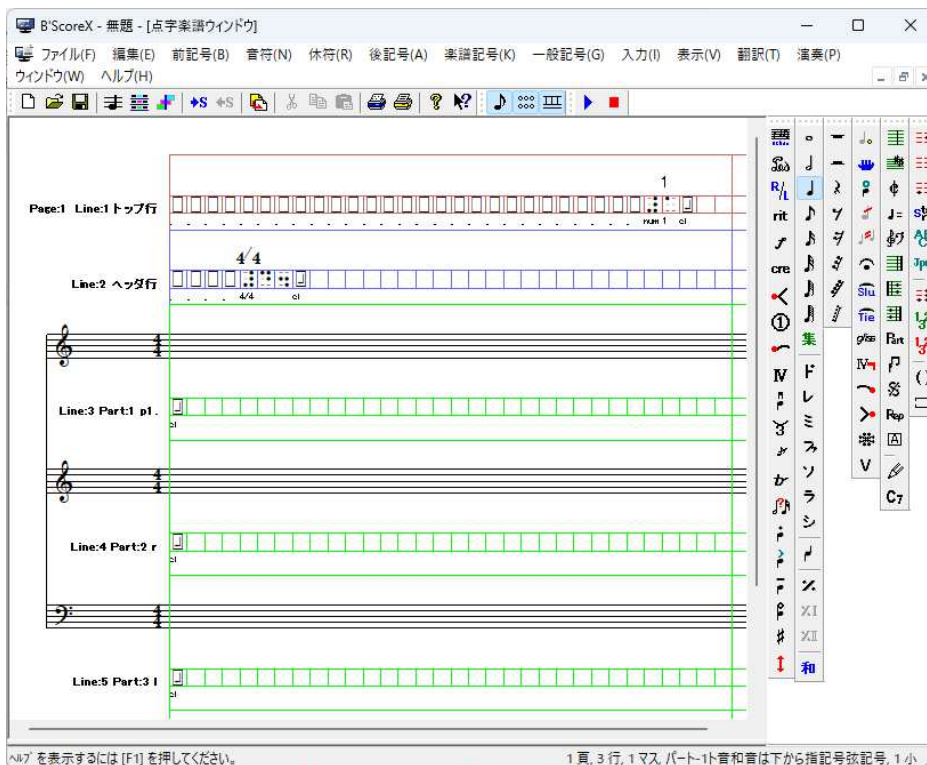
4.1 新規作成時の設定

ビースコアを起動して、新規作成ボタンを押した後に表示される画面の内容





ト音記号1パートとピアノパート(右手ト音記号、左手へ音記号)の点字楽譜ウィンドウ



※音部記号の指定、和音の方向は、点字には書き込まれない。

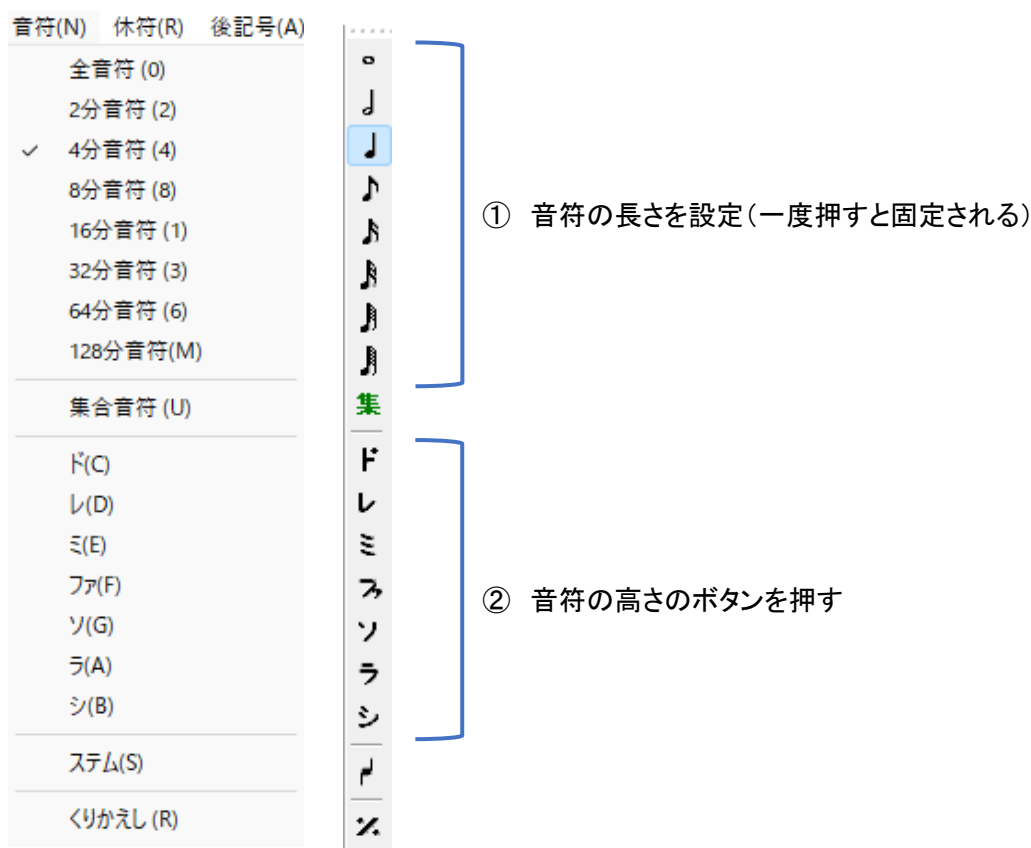
※パートは途中で増やすことはできないので、最大のパート数で作成し始める。途中で部分的に不要なパートは非出力行(9. 2章参照)にする。

※点字楽譜ではコード行は最後のパートにする。

※ビースコアでは、歌詞付きのメロディ譜のパート順はメロディ、歌詞の順とする。

4.2 音符・休符

音符をメニューやツールバーで入力するときは、まず音符の長さを設定して、音符の高さのボタンを押す。



休符のメニューやツールバーは、長さのボタンを押す。



4.3 音列記号

音符がどのオクターブに属するか定義する。音符の直前に書くが、必要でないところは省略する。

音列記号が必要な音符：

- (1) 曲の最初、段の最初(、行の最初・・・世界規約では不要だが、ピースコアでは必要)の音符
- (2) 直前の音符と同じ音列でも音程が6度以上、隣の音列でも4度以上離れている音符
- (3) 345の点で始まる用語や記号の後の音符
- (4) 部分け・内分け記号の後の音符。部分け・内分け記号がある小節の、次の小節の最初の音符

- (5) リピート記号、音部記号、速度記号、調号、拍子、パート名の後の音符
- (6) 点字楽譜独自のくりかえし記号の後の音符(例外あり)

曲の最初の音符には必要

Line:3 Part:1 p1.

Line:4 Part:1 p1.

ドラ、レシは近い音列に移る

同じ音列のドラ、レシにするときは音列記号を入れる

345の点で始まる記号の後は音列が必要

ツールバー入力の際は、入力したい音列のボタンを押す。

音列記号

第8音列(8)

第7音列(7)

第6音列(6)

第5音列(5)

第4音列(4)

第3音列(3)

第2音列(2)

第1音列(1)

第0音列(0)

オクターブ記号

なし

終了

8va

15ma

8vb

15mb

和

第4音列がピアノの中心の1オクターブ

4.4 小節線・複縦線・終止線

- 小節線 ... Bキー
- 複縦線 ... Shift+Bキー
- 終止線 ... Ctrl+Bキー

※6点入力では入力できない。

※小節線と単なるマスあけ(Spaceキー)は、点字は同じだが、ピースコアでは区別して入力する。

※複縦線、終止線のあとに点字が続くときは、1マス開ける。

単なるマスあけ 小節線 複縦線 終止線

4.5 翻訳

翻訳前の点字(赤い下線の点字)を点字楽譜の規則で解釈し、五線譜に表示する … **Tキー**

点字に間違いがなければ赤線が消えて点字の内容が五線譜に表示する。

間違いがあるとエラーメッセージで間違いの原因と思われる内容の候補を表示する。

翻訳前の状態 翻訳後の状態

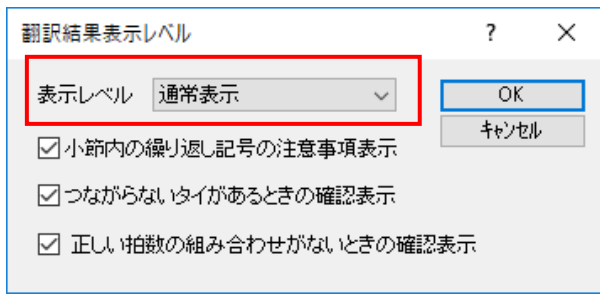
小節線を B キーで入力する。

※小節線、複縦線、終止線を入力したとき、ヘッダ行を編集したときも翻訳を行う。

※翻訳の順序 … トップ行、ヘッダ行、第1パートの第1小節～最後小節、第2パートの第1小節～最後小節、…の順。

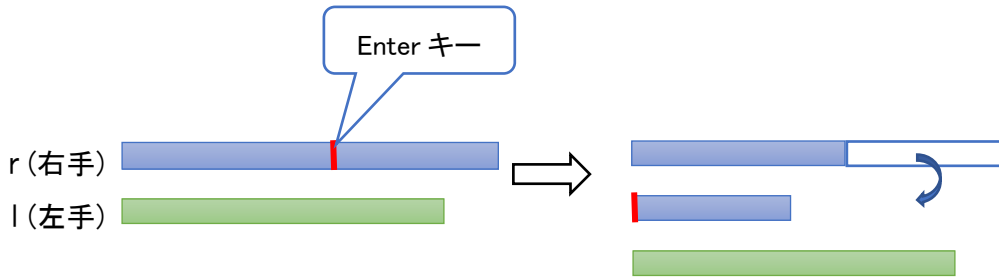
※翻訳前の点字が残っているが、エラーメッセージが表示されなくなってしまうとき、

- ・ファイルを保存して、ビースコアを再起動。
- ・メニューの”翻訳“→”翻訳結果表示レベル設定“で、表示レベルを「表示しない」以外に変更。



4.6 改行

ヘッダ行の改行、楽譜行でのパート内の改行 … Enterキー 削除はDelete、BackSpaceキー



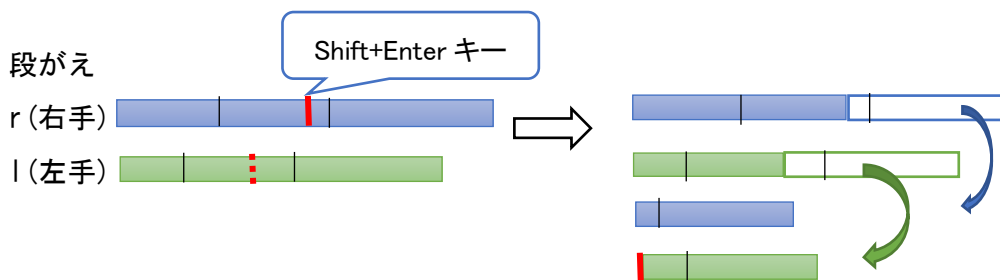
4.7 段がえ

段がえ ... **Shift+Enter**キー 削除はDelete、BackSpaceキー

多段譜の場合、同時に演奏される行の固まりを**段**と呼ぶ。

すべてのパートを同じ小節や拍の切れ目で区切り、2つの段に分けることを、

段がえと呼ぶ。段がえを入れたい位置にカーソルを置き Shift+Enter キーを押す。段がえする前に、すべてのパートがその位置まで入力されていて翻訳が通っている必要がある。



1行を点字用紙のマス以内に収めるため、小節線の直後、拍の切れ目になるところで Enter キーを押す。同じパートの2行目ができる。行の最初の音符には音列が必要。

Line:3 Part:1 p1. partnum1 part2 5cc 4c 4a 4b b 4c 4d 4b V b 8c 8b 4a 4e b 2a 4r b **B**

Line:4 Part:2 p2. partnum2 part2 4cc 4a 4f 4e b 4a 4f 4e V b 4a 4f 4e b 2e 4r b **B**

Line:5 空行

Line:6 Part:1 p1. 4c 4a 4b b 4c 4d 4b V b 8c 8b 4a 4e b 2f 4r elin cl

Line:7 Part:2 p2. 4a 4f 4e b 4a 4f 4e V b 4a 4f 4e b 2a 4r elin cl

段がえマーク (Block)

行頭になった5小節目にパート名と音列を入れて T キーを押す



Line:3 Part:1 p1. partnum1 part2 5cc 4c 4a 4b b 4c 4d 4b V b 8c 8b 4a 4e b 2a 4r b cb

Line:4 Part:2 p2. partnum2 part2 4cc 4a 4f 4e b 4a 4f 4e V b 4a 4f 4e b 2e 4r b cb

Line:5 空行

Line:6 Part:1 p1. **partnum1 part2** 4cc 4c 4a 4b b 4c 4d 4b V b 8c 8b 4a 4e b 2f 4r elin cl

Line:7 Part:2 p2. **partnum2 part2** 4cc 4a 4f 4e b 4a 4f 4e V b 4a 4f 4e b 2a 4r elin cl

4.8 改ページ

改ページ ... 改行・段がえ位置でCtrl+Enterキー 解除もCtrl+Enterキー

原則として、小節、段はページをまたがらないようにする。

切りの良い行の行末で、Ctrl+Enter キーを押すと、改ページを挿入できる。

段

ここにカーソルを置いて Ctrl+Enter (改ページ)

段
ページをまたがっている

改ページマーク

Line:18 Part:1 p1.
partbun1 partb 5uc4c 4a 4b b 4c 4d 4b V b 8c 3b 4a 4g b 2a 4r b cb

Line:20 Part:2 p2.
partbun2 partb 4uc4a 4f 4g b 4a 4f 4g V b 4a 4f 4g b 2c 4r b cb

Line:21 空行

Line:22 Part:1 p1.
partbun1 partb 5uc4c 4a 4b b 4c 4d 4b V b 8c 3b 4a 4g b 2f 4r clin cl

Page:2 Line:1 トップ行
num2 cl

Line:2 Part:2 p2.
partbun2 partb 4uc4a 4f 4g b 4a 4f 4g V b 4a 4f 4g b 2a 4r clin cl

Line:2 Part:1 p1.
partbun1 partb 5uc4c 4a 4b b 4c 4d 4b V b 8c 3b 4a 4g b 2f 4r clin cl

Line:3 Part:2 p2.
partbun2 partb 4uc4a 4f 4g b 4a 4f 4g V b 4a 4f 4g b 2a 4r clin cl

5 編集用の機能

5.1 Undo・Redo

今の操作を取り消す …… **Ctrl+Zキー**

取り消した操作を再度実行する …… **Ctrl+Yキー**

5.2 コピー・切り取り・貼り付け

点字をクリップボードにコピー …… **Ctrl+Cキー**

点字をクリップボードにコピーして削除 …… **Ctrl+Xキー**

クリップボードの点字をカレット位置に張り付け …… **Ctrl+Vキー**

5.3 かんたんコピー・かんたん貼り付け

複数パートの複数小節をクリップボードにコピー …… **メニューの”編集”→”かんたんコピー…”**、または**Shift+Cキー**

クリップボードの複数パートの複数小節を指定小節先頭に張り付け …… **メニューの”編集”→”かんたん貼り付け…”**、または**Shift+Vキー**

利用例：全パートの1～4小節目をコピーして、13小節目の前に貼り付ける。

かんたんコピー

かんたん貼り付け

かんたんコピー

全パートをコピー

コピー範囲の先頭

パート-1ト音和音は下カ 先頭小節番号 1 先頭は現在のカレット位置(S)

コピー範囲の末尾

パート-1ト音和音は下カ 末尾小節番号 4 末尾は現在のカレット位置(E)

コピー実行(C) 閉じる メインウィンドウへ(M)



かんたん貼り付け

貼り付け位置(指定小節の先頭に貼り付けます)

パート-1ト音和音は下カ 小節番号 13 カレット位置をセット(S)

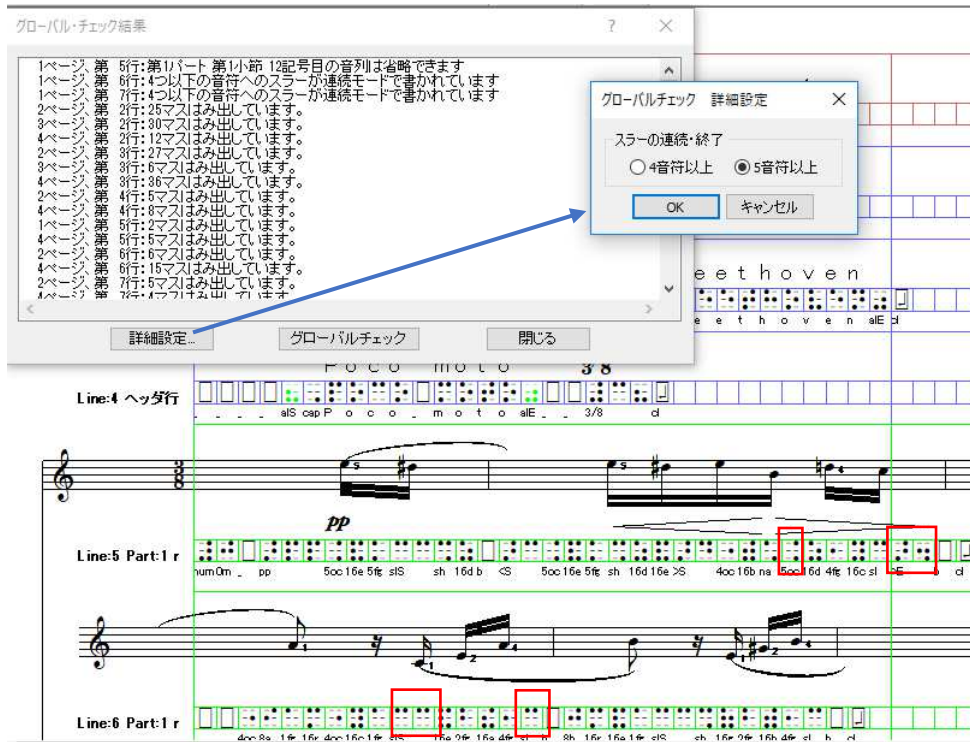
貼り付け回数 1

貼り付け実行(P) 閉じる メインウィンドウへ(M)

5.4 グローバル・チェック

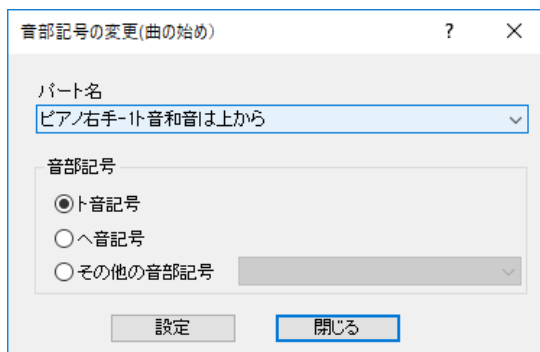
翻訳エラーがなくなったあとで、さらに別のエラーをチェックする機能 …… **メニューの”翻訳”→”グローバル・チェック…”**、または**Ctrl+Tキー**

- 1行のマス数チェック
- 小節番号が正しいか
- 和音の向きと内分け・部分けの順序
- 不要な音列記号がないか
- 書式の統一、連続表記のチェック(開発中。間違った指摘もあるので注意。)



5.5 音部記号の変更

曲の最初の音部記号を変更する。・・・メニューの“編集”→”ト音記号・ヘ音記号...”



※五線譜の表示の設定で、点字は変化しない。

5.6 初期設定の変更

新規作成時の設定を、点字を使わずに変更する・・・メニューの“編集”→”初期設定の変更→全般...”

※ヘッダ行の非翻訳・非出力点字は削除される。

ヘッダ行、歌詞の言語を変更する・・・メニューの“編集”→”初期設定の変更→言語...”

※日本語、または英語に設定する。点字は変更しない。

和音の書き方(音程法・音符法,I,II)を変更する・・・メニューの“編集”→”初期設定の変更”→”和音の書き方の変更...”(開発中。編集する必要がある場合もある。)

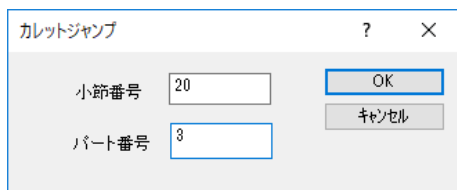
パート数、パートの種類、段の間の空行の有無を変更する … メニューの“編集”→“初期設定の変更”→“楽譜の構成の変更…”（開発中。編集する必要がある場合もある。）

※パートが減ると、下のパートから順に削除される。構成を変えても点字行の順序は変わらない。

最終パートの増減のみ変更可能。

5.7 ジャンプ

小節番号とパート番号を指定して、カレットを指定小節の最初に移動 … Ctrl+J



カレットジャンプ		?	×
小節番号	20	OK	キャンセル
パート番号	3		

5.8 弱起の設定

小節番号を0から開始する … メニューの“編集”→“弱起で始まる楽譜“

※解除したいときは、再度選択する。

6 表示機能

6.1 表示色の変更・初期値に戻す

画面の個々の要素の色を変更する … メニューの“表示”→“表示色の変更”→個々の要素を選択

※画面の表示がすべて白黒になってしまうことがある。そのときは、メニューの“表示”→“表示色の変更”→“初期値に戻す”を行うと元に戻る。

6.2 画面の拡大・縮小

画面の表示を拡大する … Ctrl+](右カッコ)

画面の表示を縮小する … Ctrl+[(左カッコ)

※墨字印刷での、1ページの印刷範囲に影響する。

7 演奏機能

7.1 演奏・途中からの演奏

曲の最初から演奏 … F4キー

演奏停止 … F3キー

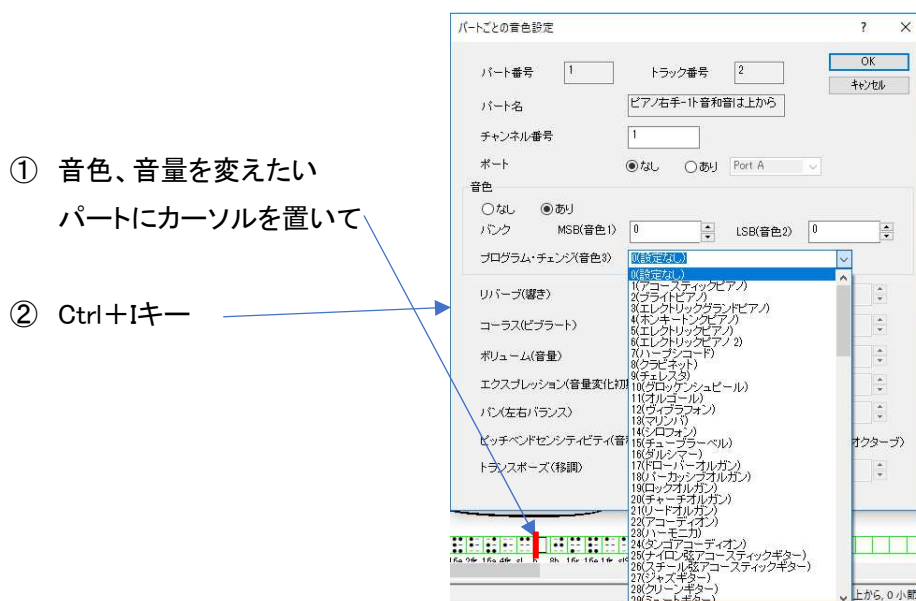
曲の途中(カレットがある小節)から演奏 … Pキー

曲の途中(カレットがあるパートのみ・カレットがある小節)から1パートのみ演奏… Shift+Pキー

7.2 パートごとの音色変更

音色を変えたいパートにカーソルを置き、パートの音色、音量、パン、トランスポーズを変える … メニューの“演奏”→“パートごとの音色設定…”(Ctrl+Iキー)

- 音色を「あり」に変更し、プログラム・チェンジのリストから、変更したい音色を選ぶ。
- ボリュームを変えて、聞きたいパート以外の音量を0にすると、特定パートのみの演奏になる。



※1つのパートの音色を途中から変えることはできない。

音色、音量のみの変更なら、簡単設定で可能・・・メニューの“演奏”→“パートごとの簡単設定...”(Shift+Iキー)



8 ファイル入出力・印刷機能

8.1 自動バックアップ

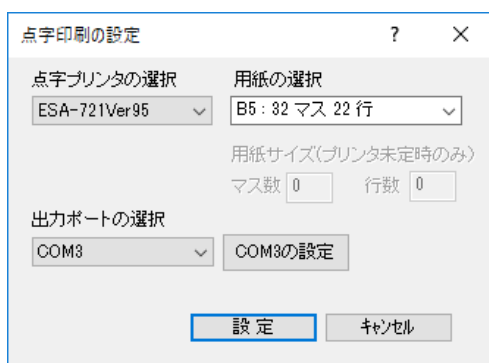
ピースコアが異常終了したとき、バックアップファイルから起動できる機能。指定回数ごとにバックアップファイルを保存する・・・メニューの“ファイル”→“自動バックアップの設定...”

8.2 ファイルの保存

ピースコアの全データを保存するときは、ファイルの種類を”BScore with MIDI File(*.bcm)”に指定して保存。点字データとして保存するときは、”BASE File(*.bse)”などに指定して保存。・・・メニューの“ファイル”→“名前を付けて保存...”

8.3 点字印刷の設定

点字の1ページの行・マス数を設定する。点字印刷するプリンタを選ぶ。・・・メニューの“ファイル”→“点字印刷の設定...”

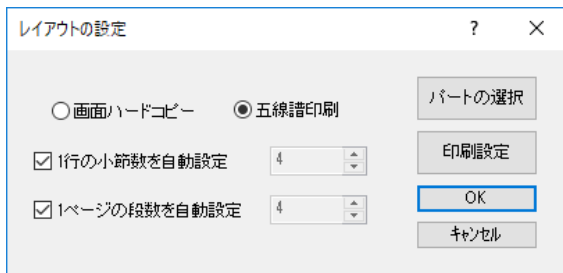


※点字の1ページの行マス数を設定できるのは、この画面のみ。点字プリンタに印刷しないなら、どのプリンタを選択しても構わない。

※18行22マスで設定しても、両面印刷は不可。メニューの”ファイル”→”名前を付けて保存”で、BSEファイルに保存し、他の点字編集ソフトで印刷してください。

8.4 墨字印刷の設定

墨字印刷するときのレイアウト設定・・・メニューの“ファイル”→“墨字印刷の設定...”



※画面と同様に、五線も点字も墨字印刷したいとき(点訳者向け)は、画面ハードコピーを選ぶ。

※画面の倍率が反映されるので、縮小して印刷したいときは、Ctrl+[左カッコ]キーを押して、画面を縮小してから印刷する。

※墨字印刷の設定に従いメニューの”ファイル”→”墨字印刷”を行ったときの印刷内容は次のようになる。ページの上端・下端は、うまく印刷できていないことがある(開発中)。

「画面ハードコピー」と設定したとき

「五線譜印刷」と設定したとき

9 ちょっと高度な機能

非翻訳点字、非出力点字の設定により、現在のビースコアのサポート範囲を超えたあらゆる点字楽譜の点字データの一タの作成、点字印刷を行うことができる。

9.1 非翻訳点字

ビースコアで未サポートの点字が必要なおき、入力した点字を**非翻訳点字(赤い点字)**に指定して、翻訳対象から外す …… **点字を選択して、Shift+Nキー(またはマウス右ボタンで、”非翻訳点字指定・解除“)**

非翻訳点字の例)

Line:2 ヘッダ行

4/4

用語継続の点線は未サポート

Line:3 Part:1 p1.

非翻訳点字

非翻訳点字

音列が必要

※非翻訳点字を含めて、点訳規則に則しているか確認要。

※1行すべて非翻訳点字にしたいとき…Shift+Kキー(またはマウス右ボタンで”非翻訳行指定・解除“)

※サポート点字一覧は、C:\Program Files (x86)\Micro CAD\BScoreX V4.96\Document下の“6.ビースコア(X)辞書(点字・キー入力文字一覧).txt”ファイル参照。

9.2 非出力点字

ビースコアの画面表示のためには必要だが、点字読者には不要な点字は、入力した点字を**非出力点字(緑の点字)**に指定して、点字印刷・点字ファイル出力させない(左詰めになる) …… **点字を選択して、Shift+Oキー(またはマウス右ボタンで”非出力点字指定・解除“)**

非出力点字の例1)

言語を”日本語“と設定した場合は、ヘッダ行、歌詞はかなで表示する。しかし、1行あけた後は点字楽譜の規則に従うため、曲の最初の曲想用語は、外国語引用符を非出力点字に指定する。

Line:2 ヘッダ行
えりーぜ の ために
えりーぜ の ために cl

Line:3 ヘッダ行
L. van Beethoven
L. van Beethoven cl

Line:4 ヘッダ行
cl

Line:5 ヘッダ行
Poco moto 3/8
Poco moto 3/8 cl

Line:6 Part:1 r
num 0m . pp
18e 3fz s1S sh 18d b C3
3fz sh 18d 18e >S 4oc 18b p3 cl

表示するに 非出力点字 非出力点字 行, 28マス, ピアノ右手-1音和音は上から, 2小節, 小節内14マス目 音程法 日本語

言語

非出力点字の例2)

2小節休み、3小節休みで、間の小節線を出力しない場合は非出力点字に指定する。

Line:3 Part:1 p1.
1r b 1r b 4oc 4c 4d 4e 4f b 1r b 1r b 1r b 4c 4d 4e 4f b num 4 rs b cl

非出力点字の例3)

音部記号を入れて非出力点字に指定し、原本との照らし合わせを容易にする。点字読者には通常は不要な点字。

Line:3 Part:1 p1.
4oc 4c 4d 4e 4f b 4e fclf 2oc 4e 4f gclf 4oc 4e b cl

※非出力点字がないとしても、点訳規則に則しているか確認要。

※1行すべて非出力点字にしたいとき(段によってパート数が変わるときの、不要な行など)・・・Shift+Lキー(またはマウス右ボタンで”非出力行指定・解除“)

10 点字楽譜に関する書籍・Webサイト

・点字楽譜の手引

著者:文部科学省、発行:日本ライトハウス 2,700 円

点字楽譜の教科書。

日本点字図書館(高田の馬場)の「わくわく用具ショップ」から購入できる

<http://yougu.nittento.or.jp/>

・新国際点字楽譜表記解説(New International Manual of Braille Music Notation)

点字楽譜の国際規格書。出版されているが内容が著者の好意により公開されている。

<http://www.brl.org/music/manual/>

日本語への翻訳も楽譜点訳グループ「星」のホームページに公開されている。

<http://hoshi-81.mints.ne.jp/index.html>

・改訂版 点字楽譜の作り方

著者:ビースコアプロジェクト、発行:カットシステム 4,800 円+税

点字・音楽・点字楽譜の基礎、点字楽譜専用ソフト「ビースコア」の使用法とマニュアル。ビースコアのV3.10に準拠しているが、最新版でも利用できる。全国書店で購入可能。

・楽譜点訳「星」の楽譜点訳表記資料

<https://hoshi-81.org/manual.html>

・楽譜点訳普及会「トニカ」点訳アラカルト

http://gakuten-tonica.sakura.ne.jp/ala_index.html

・ビー・ミュージック ビースコアの使い方

<https://www.be-music.jp/%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9/>

・ビー・ミュージック ブログ

<https://braillemusicscore.blogspot.com/>

・北米点字コード(英語)

<https://www.brailleauthority.org/music/music.html>

ビー・ミュージック 村上恭子

メール: info@be-music.jp

電話: 03-3991-4485

ホームページ: <https://www.be-music.jp>